

第 20 回 北アジア調査研究報告会

日 時：2019年2月23日（土）13:00～17:00 受付開始 12:30

2月24日（日）9:00～15:00 受付開始 9:00

会 場：愛媛大学城北キャンパス愛大ミュージズ1階 アクティブラーニングスペース

主 催：北アジア調査研究報告会実行委員会

共 催：愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター・愛媛大学考古学研究室

プログラム

2月23日（土）

12:30～ : 開場

13:00～13:30 : 佐藤宏之「ユーラシア旧石器時代における3つの文化圏-中期旧石器時代のモヴィウス・ライン再考-」

13:30～14:00 : 国武貞克、ベフィートフ・ガリムジャン、佐藤宏之「カザフスタン南部天山北麓の新発見遺跡クズルアウス2遺跡第1次発掘調査速報」

14:00～14:30 : 福田正宏、M. Gablirchuk、國木田大、田尻義了、M. Gorshkov、江田真毅、木山克彦、A. Malyavin、夏木大吾、足立達朗、張恩恵、太田 圭、田邊えり、熊木俊朗「ロシア・ユダヤ自治州における考古学的調査（2017・2018年度）」

14:30～15:00 : 高倉 純、赤井文人、鈴木建治、中沢祐一、長沼正樹、村本周三、森 久大「北海道ニセコ町西富遺跡における2018年度発掘調査」

休憩（20分程度）

15:20～15:50 : 夏木大吾、太田 圭、西村広経、山田貴博、渡邊 怜、佐藤宏之、熊木俊朗「北海道北見市吉井沢遺跡の調査成果（第12次）」

15:50～16:20 : 熊木俊朗、夏木大吾、市川岳朗「2018年度北海道北見市大島遺跡群発掘調査報告」

16:20～16:50 : 内田宏美「モンゴル チャンドマニ・ハル・オール（Chandmani Khar Uul）遺跡出土の漆器とその銘文について」

懇親会（18:30～ 大街道周辺）

2月24日(日)

8:30～ : 開場

9:00～ 9:30 : 臼杵 勲「モンゴル国トゥヴ県ホスティン・ボラグ遺跡群と物理探査」

9:30～ 10:00 : 柳本照男ほか「モンゴル国トゥヴ県ホスティン・ボラグ3遺跡、2018年の調査報告」

10:00～ 10:30 : 佐川正敏「モンゴル国トゥヴ県ホスティン・ボラグ3遺跡における匈奴の瓦磚生産とその比較研究」

10:30～ 11:00 : 笹田朋孝、L. イシツェレン、G. ガルダン、正司哲朗「モンゴル国トゥヴ県ホスティン・ボラグ4遺跡の調査報告—匈奴の堅穴建物の調査—」

11:00～ 11:30 : 正司哲朗、臼杵 勲、中村大介、L. イシツェレン、Ch. アマルトゥブシン「18世紀の寺院都市ズーン・フレーの西側遺構の調査」

11:30～ 12:00 : 中村大介、本澤 航、正司哲朗、臼杵 勲、Eregzen Gelegdorj、Amartuvshin Chunag「ブルハント・オール (Burkhant Uul) の青銅器・鉄器時代墓の調査」

昼食

13:00～ 13:30 : 荒 友里子「アンドロノヴォ文化集合青銅器群の器種・型式分布の地域差とその背景」

13:30～ 14:00 : 村上恭通、臼杵 勲、菊地芳朗、鈴木一有、品川 愛、栗林誠治、Alexander Solovyev、Elena Solovyeva、Evgeniy Bogdanov「ロシア アルタイ共和国ウラガン州 Balyktuyul 遺跡における製鉄炉の調査成果」

14:00～ 14:30 : Ch. アマルトゥブシン、L. イシツェレン、G. ガルダン、B. ガーバル、鄭宗鎬、村上恭通「モンゴル・アルタイ地方における匈奴～柔然の製鉄遺跡発掘調査概要」

14:30～ 15:00 : 村上恭通「アルタイ地方における匈奴以降の製鉄技術変遷史」

【紙上報告】

1. 木山克彦、L. イシツェレン、笹田朋孝、佐川正敏、大澤 孝、正司哲朗、T. アムガラントクス、L. ムンフバヤル、N. ナムダク「2018年モンゴル国オルズ川流域の考古学調査」
2. 根岸 洋「二枚橋式期の再検討」

<会場案内>

<https://www.ehime-u.ac.jp/overview/access/johoku/>

https://www.ehime-u.ac.jp/wp-content/uploads/2016/02/johoku_1.pdf

愛媛大学正門から入り、約50m直進後、右折。約50m直進、左手の建物、1階が会場。

